

一般社団法人室内環境学会 2019 年度 第 3 回臨時理事会議事録

日 時：2019 年 6 月 7 日（金）16:00～17:30

場 所：(株) 静環検査センター 3 階 会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、山口 一、篠原直秀、水越厚史、鍵 直樹、三宅祐一、徳村雅弘

監事：野口美由貴

オブザーバー：佐藤博

事務局：橋本一浩（事務局長）、萬羽郁子（会計）、色摩 操

欠席：一條佑介、Tin Tin Win Shwe、中島大介、小沼ルミ

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 平成 30 年学術大会収支決算報告

橋本事務局長より平成 30 年学術大会の収支決算について報告があった。

2. 2019 年学術大会準備状況

三宅大会長より資料に基づき 2019 年学術大会の準備状況が説明され、各理事と意見交換された

- ・ 要旨集を印刷する必要がなくなったため、例年と異なり、演題登録締め切りを 10 月上旬とし、要旨提出締め切りを 10 月末とする。
- ・ これにより演題登録に伴う新規入会のタイミングが新年度(10 月 1 日)以降となるように調整する
- ・ 今年は国際シンポジウムを予定している。テーマは「Novel assessment and control technology of indoor air quality in Asian countries」。
- ・ 国際シンポジウムには台湾、韓国、ミャンマーなどから演者を招待したいと考えている。

3. 研究助成金の公募

篠原学術委員長から、匿名の学会員より 100 万円を寄付頂きこれを研究助成金として活用をしたいと説明があった。85~90 万程度を研究助成金に、残り 10 万前後を学生会員への学術大会渡航費とする案が示されたが、理事会で議論した結果、100 万円全額を研究助成金として公募することに決定した。学会員限定の募集とする。

6 月中に応募→7 月末に応募締め切り→8 月末に採択決定→9 月から研究実施、というスケジュールを目標とする。なお、研究助成対象者には、①研究報告書の提出、②会計報告の提出、③学術大会での発表、④室内環境誌への論文投稿、の 4 点を義務とする。論文種類は極力、原著での投稿とする（査読結果により論文種類が変更となることも想定されるので絶対条件とはしない）。

後日、理事長および事務局長が寄付者の元へ訪問し、学会として御礼を伝えることになった。

4. 委員会および分科会の構成員

篠原学術委員長より、委員会および分科会における非会員の加入についてルール整備が提案された。委員会は非会員でも就任可能な状況であったが、これを学会員に限る文言を一般規則に明記することになった。また、分科会については外部との連携が活発な活動に繋がっているという意見があり、非会員の割合を 2 割以下とすることになった。今後、適用する会員種別を整理し、一般規則の改定案を作成する（事務局）。分

科会設立申請書には会員・非会員の記入欄を設けることにする。また、分科会の活動は学術委員会の管轄下であることを明記する。

5. 2019年度室内環境学会講演会

山口委員長より、2019年度室内環境学会講演会（於；JASIS2019）が年9月6日(金)に開催予定と報告があった。テーマは「IoT 社会の室内環境センシング – 生体センシングからスマホの活用まで」。出席理事に対し、講演会の開催を宣伝してほしいと要請された。

6. 関西支部より

水越理事より、関西支部の活動費を増額してほしいとの要望が支部から出ている、と報告があった。講演会開催に掛かる費用に充てたいとのこと。他に出版委員会も予算が不足している状況であることから、必要な委員会・支部には来年度予算で増額を検討したい、と関根理事長が回答された。

7. 協賛・後援・共催規定の改正

橋本事務局長より、協賛・後援・共催規定の改正案が説明された。規定のタイトルを現状に合わせた形に修正したいとのこと。出席理事の賛成多数を持って改正案は承認された。

8. 2020年および2021年室内環境学術大会の開催候補地

関根理事長より、2020年学術大会を東北支部に、2021年学術大会を関西支部にお願いすることにした、と説明があった。現在、大会候補地が複数存在することから、東京・地方を交互に開催する従来のローテーションには拘らずに実施していきたいとのこと。

6. その他

- ・ 事務局より2019年11月～2019年6月の入会承認者14名（法人会員1社、正会員13名）のリストが報告された。
- ・ 会員動向として、2019年6月7日時点で正会員370名、法人会員48社（団体）、学生会員52名、シニア会員9名であると報告された。
- ・ 年号の表記について、室内環境学会では元号ではなく西暦で表記することを基本にする。
- ・ 名誉会員の推挙について意見交換があった。会員歴の長い会員のリストを事務局が作成する。
- ・ 今年度の論文賞選考委員長に東先生が推挙された。今後、ご本人に打診する。
- ・ 榎本監事が海外転勤となったと報告があった。会計監査は郵送等で対応可能とのこと。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

徳村雅弘

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

三宅祐一

印

Tin Tin Win Shwe

印

一條佑介

印